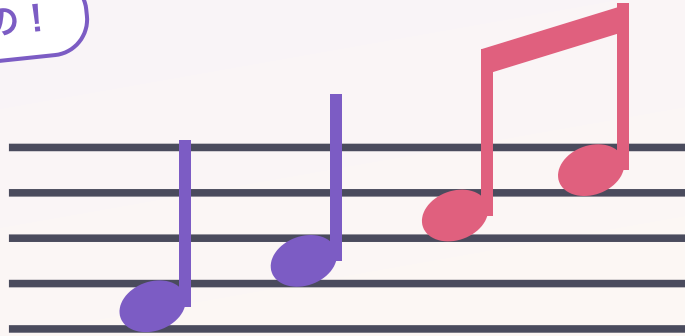


せーの！



ぴったりそろった！

合奏のまとめ役

手の動きひとつで、心をひとつに



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましよう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

まとめ役とは	3～6
指揮とテンポ	7～9
練習をまとめる	10～13
心を育てる	14～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

まとめ役（リーダー）とは

合奏をまとめる役割の大切さを知ろう。

まとめ役（リーダー）とは、**合奏やアンサンブルで、みんなの音や気持ちをひとつにまとめる人**です。

指揮者だけでなく、パートリーダーや進行役など、まとめ役にはいろいろな形があります。



まとめ役

leader

合奏をまとめる役割の人

指揮者

conductor

手の動きで演奏を導く人

ポイント

- まとめ役は、演奏の技術だけでなく、伝える力や気配りも大切な役割です。
- 誰でも、練習次第でまとめ役の力を身につけることができます。

やってみよう

1. これまでにまとめ役をした経験があれば、そのときの気持ちを書こう。

.....

ワンポイント まとめ役は「命令する人」ではなく、「みんなの力を引き出す人」です。

書いて覚えよう

指揮者が担う具体的な仕事を知ろう。

- 指揮者は、テンポ・強弱・始まりと終わりなど、演奏全体の方向を示します。
- 楽譜の解釈を考え、演奏者に伝える役割も担います。

1. 指揮者がいる演奏といない演奏、どんなちがいがあると思いますか。書こう。

指揮の基本のしくみを知ろう。

- 指揮は、手を上下や左右に振って、拍の位置とテンポを示します。
- 拍子（2拍子・3拍子・4拍子など）によって、手の動かし方のパターンが決まっています。

1.手を軽く振って、一定のテンポで4回動かしてみよう。

拍子ごとの指揮の形を知ろう。

下→上の2つの動き。行進曲などに多い

下→右→上の3つの動き。ワルツなどに多い

下→左→右→上の4つの動き。もっとも多く使われる

- 拍子ごとに決まった動きのパターンがあり、これを「指揮法」といいます。
- 慣れないうちは、手の動きよりも拍を声で数えることを優先しましょう。

1. 4拍子の指揮の動きを、手で真似してみよう。

音の大きさを伝える動きを知ろう。

- 手の動きを大きくすると強く、小さくすると弱く演奏するよう伝えられます。
- 表情や体の動きも、強弱を伝える大切な手段です。

1. 手の動きを大きく・小さくして、強弱を表現してみよう。

速さの変化を伝える動きを知ろう。

- 手を動かす速さを変えることで、テンポの変化を伝えられます。
- だんだん速く・だんだん遅くする場面では、動きも少しずつ変化させます。

1. 手を振る速さを、だんだん速く、だんだん遅くしてみよう。

書いて覚えよう

練習の進め方

効果的な練習の順番を考えよう。

① 全体を通す

② 部分練習

③ 通しで確認

Emmaの例

① 全体を通す 気になる場所をメモ／② 部分練習 むずかしい場所を繰り返す／③ 通しで確認
直ったか確かめる

ポイント

- 時間を区切って計画的に進めると、限られた練習時間を有効に使えます。

書いて覚えよう

- 意見が分かれたときは、それぞれの理由を聞いてから、共通点を探しましょう。
- 多数決だけに頼らず、納得できる形を目指すことも大切です。



Emma



1. 意見が分かれたときの解決方法を1つ考えて書こう。

全体だけでなく細部も確認しよう。

- 全体を通すだけでなく、パートごとに音を確認する時間も大切です。
- 小さな間違いも、パートごとに聴くと見つけやすくなります。

やってみよう

1. 自分のパートで気をつけたい部分を1つ書こう。

書いて覚えよう

声のかけ方

伝わりやすい声かけを考えよう。

伝わりにくい声かけ

きつく聞こえる

「もっとちゃんとやって」

具体的でない

「なんでできないの」

責めるように聞こえる

伝わりやすい声かけ

具体的で前向き

「ここはもう少し大きく」

具体的で分かりやすい

「さっきよりよくなったね」

がんばりを認める

ポイント

- 具体的で前向きな声かけは、仲間のやる気を引き出します。

書いて覚えよう

仲間の意欲を高める工夫を知ろう。

- できたことを認め、感謝を伝えることが、やる気を引き出す近道です。
- 小さな成功を積み重ねられるよう、目標を細かく設定するのも効果的です。

やってみよう

1. 仲間のやる気を引き出す言葉を1つ考えて書こう。

書いて覚えよう

うまくいかないときの対応を知ろう。

- 演奏中にミスが起きても、まとめ役はあわてず、落ち着いて対応することが大切です。
- 仲間同士の意見の食い違いには、両方の話をよく聞く姿勢が求められます。

やってみよう

1. 演奏中にトラブルが起きたら、どう対応したいか書こう。

書いて覚えよう

concertmaster

- まとめ役は、自分の意見を押しつけるのではなく、仲間の声を聴く姿勢が大切です。
- 完璧を求めすぎず、みんなで一緒に良くしていく気持ちを持ちましょう。

1. あなたが大切にしたいリーダーの心がまえを1つ書こう。

実際にまとめ役を体験しよう。

自分のまとめ役をふり返ろう。

- まとめ役をやってみて、うまくいったこと・難しかったことをふり返りましょう。
- ふり返りを次に生かすことで、まとめる力が育っていきます。

やってみよう

1. まとめ役をやってみて気づいたことを1つ書こう。

書いて覚えよう

聴いてくらべよう

まとめ役がいる演奏といない演奏をくらべよう。

くらべるところ	まとめ役がいる演奏	まとめ役がない演奏
始まり方	そろって始まる	バラバラになりやすい
テンポ	安定している	ずれやすい
まとまり方	_____	_____

ポイント

- 聴きくらべると、まとめ役の存在の大切さがよく分かります。

やってみよう

1. まとめ役がいる演奏を聴いて、良いと感じたところを書こう。

書いて覚えよう

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

仲間とまとめ役の練習をしよう。

A (合図を出す) せーの

B (合わせて) タン！

A (強弱の合図で)

B (合わせて)

A (役割を交代して)

B (合わせて)

ポイント

- 合図を出す役を交代しながら練習すると、両方の立場を体験できます。

ワンポイント 最初は手を大きく動かして、分かりやすい合図を心がけましょう。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきの原因と直し方を知ろう。

つまずき

よくあること

合図が分かりにくい

動きが小さい

意見をまとめられない

一方的に決めている

伝え方がきつくなる

焦りが出る

コツ

こうしてみよう

動きを大きくはっきりさせる

伝わりやすくする

まず仲間の意見を聞く

納得を得る

深呼吸してから伝える

落ち着いて話す

やってみよう

1. あなたがつまずきやすいのは？

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

役割の言葉

☐ まとめ役

合奏をまとめる役割の人

☐ 指揮者

手の動きで演奏を導く人

役割の言葉2

☐ コンサートマスター

指揮者と演奏者をつなぐ役割

☐ リーダー

集団をまとめる人

指揮の言葉

☐ 予備拍

始まりの合図となる小さな動き

☐ 指揮法

拍子ごとの指揮の動き方

心がまえの言葉

☐ 声かけ

仲間を励ます言葉

☐ ふり返り

終わったあとに気づきをまとめること

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|-----------|---|---------------------|
| まとめ役 | ● | ● ア. 始まりの合図となる小さな動き |
| 指揮者 | ● | ● イ. 拍子ごとの指揮の動き方 |
| コンサートマスター | ● | ● ウ. 手の動きで演奏を導く人 |
| 予備拍 | ● | ● エ. 指揮者と演奏者をつなぐ役割 |
| 指揮法 | ● | ● オ. 合奏をまとめる役割の人 |

2. 指揮の基本の拍子を2つ以上書こう

1. _____
2. _____

3. 指揮者と演奏者をつなぐ役割を何という？

1. _____

書いて覚えよう

25

家でできる練習

毎日少しずつ、まとめる力を育てよう。

朝

鏡の前で指揮の動きを練習する

移動中

好きな曲に合わせて指揮のまねをする

すきま時間

4拍子の指揮を声を出しながら振る

夕方

家族に前向きな声かけをしてみる

夜

今日気づいたまとめ役のコツをノート
に書く

週末

友だちと交代でまとめ役を体験する

ポイント

- 少しずつでも、続けることでまとめる力が育ちます。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

まとめ役の経験を人に伝えよう。

まとめ役をした場面

出した合図

工夫したこと

聴いてほしい人

Kenの例

まとめ役をした場面 友だちとの合奏／出した合図 うなずきで始まりを合図／工夫したこと 大きくはっきり動いた／聴いてほしい人 家族

感想を3文で書こう

- ① まとめ役をしてみて、～な発見がありました。② とくに、～のところがむずかしかったです。
③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

まとめ役の世界をさらに広げよう。

もっと知りたい人へ

動画で

指揮者の演奏を見る

演奏会へ

オーケストラの指揮を見に行く

仲間と

もっと大きな合奏でまとめ役に挑戦する

次のステップ

発表会

人前で演奏を披露する経験

鑑賞

音楽をじっくり聴く力

表現

気持ちを重ねて伝える力

ポイント

- この教材の次は、成果を人前で披露する「発表会をしよう」です。

書いて覚えよう

合奏のまとめ役チャレンジ

教室の外でも、まとめる力を試そう。

練習しよう

指揮の基本の動きを覚える

伝えよう

前向きな声かけを仲間にする

挑戦しよう

まとめ役を1回やってみる

こたえ

L26 まとめ役→オ 指揮者→ウ コンサートマスター→エ 予備拍→
ア 指揮法→イ 2. 2拍子 / 3拍子 / 4拍子 3. コンサートマスタ
ー

L33 (例) まとめ役は、合奏の音や気持ちをひとつにまとめる
人。合図と声かけが大切。

書いて覚えよう

合奏のまとめ役 (Season 5 | No.49)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。